

チームがおかしくなる要因とその対策

チーム・組織がおかしくなる要因には、次の6つがあります。

1
まんねり

2
油断

3
驕り

4
妥協

5
怠慢

6
諦め

理念・行動指針を定め浸透させていても、様々な仕組みを作って継続していても、職員の入・退職、上司の交替、ミスの見逃し、クレーム・事故・トラブルの放置、職場の目標未達成、あるいは、それなりに平穏無事が続いていたりすると、上の6つの要因のどれかが表れてきます。

これに対し、チームリーダーは是正提案したり、改革、革新を進めるべく仕組みの見直しを考えたりしますが、うまく事が進まないケースが出てきます。

そんな時、部下や関連部署から次の言葉がでていませんか！

1. 目標はあくまで目標ですから
2. 上手くいくとは限りません
3. 出来る範囲でやります。
4. いっぱい、いっぱいです
5. 過去にやったが、うまくいかなかった
6. 万が一のことを考えると……
7. 少なくとも私にはその経験がない
8. そういうあなたはどのようなのですか！
9. そこまでやる必要があるのですか！
10. 精査します

このような表現を「勘違いフレーズ」と言います。

つづく



部下の中から「勘違いフレーズ」を発する人が出てきて放置すると、チームに組織に蔓延していきます。

速やかにその部下と膝を突き合わせ、話をし、現状を互いに認識し、何故そうなっていったのか、どこに原因があったのか、どんな注意をしていったらいいのか、改善のためにどうしたらいいのか、知恵を引き出し、協力を求め、気持ちよく納得できるまで対話していきましょう。 想いを持っての対話しか方法はありません。

あなたの職場で、持ち場で気になっていることはありませんか？
あれば早めにメスをいれて、気持ちの良いチーム、働きやすい職場に、そして目標に向かって一丸となって進んでいくチームにしましょう。



今年最終のワンポイントアドバイスです。
ご覧頂きましてありがとうございます。
来年も、よりお役に立つ情報を発信して
まいりたいと思います。
どうぞ良いお年をお迎えください。

長嶺 堅二郎

